



奈良県感染症情報

令和2年第10週(3月2日～3月8日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点あたり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点あたり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	5.05	(6.71)	↘	↘	↓	↘
2	感染性胃腸炎	3.21	(3.68)	↘	↘	↘	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	2.38	(2.21)	→	→	↗	↓
4	伝染性紅斑	0.50	(0.35)	→	→	→	→
5	水痘	0.29	(0.53)	→	→	→	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点あたり報告数は前週より減少していますが、定点あたり報告数が1.0を下回るまでは注意が必要です。引き続き、感染予防に努めましょう。

全国で新型コロナウイルス感染症の報告が相次いでいます。新型コロナウイルス感染症では、発熱や咳、全身がだるいなどの風邪のような症状が一週間前後続くことが多いです。高齢の方や糖尿病、心不全、慢性呼吸器疾患のような基礎疾患のある方は、症状が重くなりやすいので、注意が必要です。これまでに得られた情報から、主な感染経路は飛沫・接触感染であると考えられるため、感染拡大を防ぐためには一人一人の咳エチケットや手洗いの励行が重要となります。また、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されており、小規模な患者の集団が次の患者の集団を生み出すことの防止が重要となります。換気が悪く、ヒトが密に集まって過ごすような空間に集団で集まることは避けるようにしてください。

♣ 小児科外来情報 ♣

北部地区(矢追医院)

新型コロナウイルスの感染を心配して、外来患者数はかなり少なくなっています。インフルエンザはB型が少しだけみられます。その他の感染症はほとんどありません。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は受診控えもあって少ない。

インフルエンザはB型が少しある程度、増加傾向は見られない。

A型は減少した。

感染性腸炎が少しずつ流行、下痢が多く嘔吐は少ない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

A型インフルエンザはほとんどみられなくなった。B型インフルエンザは一部保育所で流行が続いている。重症例はないが遷延例はみられる。

下痢の長引く胃腸炎も増加。ノロ、ロタ迅速は陰性。花粉症にまじりアデノウイルス結膜炎も増加している。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 10 週 3 月 2 日 ~ 8 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	278 (5.05)	54 (3.86)	70 (5.00)	68 (6.18)	64 (6.40)	4 (2.00)	18 (4.50)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	9 (0.26)	1 (0.11)	5 (0.56)	3 (0.43)				
咽頭結膜熱	4 (0.12)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)			1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	81 (2.38)	9 (1.00)	11 (1.22)	34 (4.86)	27 (4.50)			
感染性胃腸炎	109 (3.21)	20 (2.22)	30 (3.33)	27 (3.86)	25 (4.17)	3 (3.00)	4 (2.00)	
水痘	10 (0.29)	4 (0.44)		3 (0.43)	2 (0.33)	1 (1.00)		
手足口病	1 (0.03)		1 (0.11)					
伝染性紅斑	17 (0.50)	10 (1.11)	3 (0.33)	1 (0.14)	3 (0.50)			
突発性発しん	7 (0.21)		4 (0.44)	2 (0.29)			1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)	1 (0.33)	2 (0.67)	1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)				2 (2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	

❖ 第10週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男	1	2	1	2	5	5	14	15	7	11	11	33	10	3	3	3					126	2939	
	女	1		3	1	4	7	11	14	12	14	14	33	7	8	11	7	3	1		1	152	2837	
RSウイルス感染症	男	1		1	2			1														5	83	
	女	3		1																		4	55	
咽頭結膜熱	男					1		1														2	43	
	女			1	1																	2	34	
A群溶連菌咽頭炎	男			4	10	4	9	13	5	5	1		2		1							54	330	
	女		2		2	3	3	6	6	1	3		1									27	270	
感染性胃腸炎	男		2	9	4	10	6	3	4		2	1	5	2	7							55	842	
	女		2	7	7	6	3	4	6	3	1	1	3	1	10							54	762	
水痘	男						1	2	1			1										5	46	
	女							2		1		2										5	47	
手足口病	男																					1	23	
	女			1																		1	18	
伝染性紅斑	男					3	1	1	1	2		1										9	113	
	女					2	1	1	3													8	95	
突発性発しん	男		1	3																		4	49	
	女			1	1	1																3	34	
ヘルパンギーナ	男																						1	
流行性耳下腺炎	男																						4	
女																							2	
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男															2						3	12	
	女															1						1	9	
細菌性髄膜炎	男																						1	
	女																							
無菌性髄膜炎	男																						2	
	女																						1	
マイコプラズマ肺炎	男																1					1	12	
	女					1																1	10	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	1	
	女																						5	

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

